

統計資料と地方自治

猿島郡統計事務研究会会長
境町長

橋本正士

激動する現代の経済、社会に対応した地方自治行政を運営して行くに当たり、統計資料の需要は、一段と高まりつつあります。日頃これらの統計調査に際して、迅速かつ正確な資料の収集に務められる調査員各位のご苦労に対し、深甚なる謝意を表するものであります。

申上げるまでもなく、地方自治体の行政は、地方自治の本旨に基づき、地域の秩序を維持し、住民の安全、健康及び福祉を保持しつつ、地域の開発、環境及びその他各種の施設の整備をはかることを目的としております。これらの行政を能率的、かつ効果的に運営して行くためには、地域の実態を適確には握し、経済、社会の変動に応じた施策を必要とします。

特に当地域は、首都東京から50Kmの圏内に位置し、首都圏近郊整備地帯の指定を受け、現在用途地域決定のための作業を進めており、今後急激なスプロール化が予想されます。そのような中で、農業を維持し、商業及び工業とコントロールされた、緑と光に満ち溢れた、都市造りを進めて行くうえにおいて、年々調査される統計資料は、行政運営上のあらゆる分野において、重要な基盤となります。過去の指数を基に、開発に伴う諸般の状況の変化を推定し、それらに対応した商業圏、工業立地、区画整理、福祉施設、文教施設、都市街路、都市下水道、一般町道、上水道及び公共下水道等の整備を計って行かねばなりません。また開発に伴い必然的に発生すると予想される農耕地及び農家労働力の減少に対処しても、曲り角にあると云われる現在の農業経営のあり方から脱皮し、他産業との所得格差を是正するため、農業関係の統計資料を基本に、農家の意向を勘案しつつ、圃場整備、農道整備及び農業用水の確保等を図り、合わせて経営の改善に対する計画の立案と、営農指導を進めて行かねばなりません。

以上のような諸施策を樹立するに当たり、各種の統計は、欠かすことのできない資料であり、より正確なものであることが要求されます。そのためには、優秀な調査員の確保と、調査客体からの積極的な協力を得るための手段を考慮していかねばなりません。

各種統計を担当する調査員の資質の向上を図るため、調査員の組織化を推進し、合わせて研修制度を確立し、研究会等を通じて、調査員相互の連絡を密にし、優秀な調査員の養成を考えねばなりません。

また、調査客体の調査に対する協力態勢を改善することも、重要な課題であります。現状では統計資料が不利益な目的に利用されるのではないかと懸念し、正確な資料の収集が困難であることは、否めない事実であります。これらの改善策として、広報紙、有線放送等による統計調査の必要性のPRの常時化と相まって、調査結果を一般に公表し、調査客体が調査資料を利用して、他産業との比較、経済変動等を知ることにより、改善すべきは、正すことのできる方策を樹立し、調査客体の積極的な協力を促し、より正確な資料が収集でき得よう努力して行かねばなりません。

以上述べましたように、地方自治行政と統計資料は、密接な連携を持つものでありますので、調査員の方々には、今後とも「郷土開発の一翼を荷なう」重要な任務を果たすというご認識の上に立って、健康に留意され、益々ご精進くださいますよう祈念いたします。